

安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 Through Path Plus 40x

製品コード 2001004

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名称 株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ
担当部署 技術サポート/品質保証グループ
住所 〒184-0012 東京都小金井市中町 2-16-17
電話番号 042-385-0461
Fax 番号 042-385-0462
電子メールアドレス info@on-chip.co.jp
緊急連絡電話番号 042-385-0461

推奨用途

研究用(細胞懸濁用溶液)

使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康有害性

分類できない

環境有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 該当しない
注意書き 該当しない

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 登録番号	官報公示 整理番号 (化審法／安 衛法)	濃度又は濃度範囲(wt%)
1,2-エタンジアミン、2-メチルオキシランとオキシランを含むポリマー	26316-40-5	-	10
塩化ナトリウム	7647-14-5	1-236／ 7-(3)-1053	0.90
リン酸水素二ナトリウム十二水和物	10039-32-4	1-497／-	0.10
リン酸二水素カリウム	7778-77-0	1-452／-	0.01
純水	7732-18-5	-	≥ 88

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、安静にして暖かく保つこと。
気分が悪い時は、直ちに医師の診断／手当てを受け、安静にすること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けんで洗い流すこと。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目をすすぐときは、まぶたを指で大きく開き、眼球とまぶたを水で注意深く洗うこと。
症状が続く場合は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
意識がない場合は、絶対に口から何も与えず、嘔吐させないこと。異常があれば医師の手当てを受けること。

急性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて適切な治療を行う。

5 火災時の措置

適切な消火剤

水(噴霧)、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。

使ってはならない消火剤

直接の棒状注水は火災が周辺に広がる恐れがあるため危険である。

火災時の特有の危険有害性

火災時には、刺激性または有毒なヒューム(ガス)が発生する。

消防士は煙を吸入しないよう適切な保護具を着用すること。

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

危険でなければ容器を安全な場所に移動する。

移動が不可能な場合は、容器とその周辺を水で冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立入りを禁止する。

適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用すること。

漏出した場合は、事故防止および汚染防止のため、直ちに関係当局に報告すること。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止めること。

少量の場合は、ペーパータオルや拭き取り用布で拭き取り、適切な廃棄用容器に回収する。

多量の場合は、漏出を防止し盛土で囲うこと。

床にこぼすと滑りやすくなる。漏出物を直ちに清掃し、廃棄すること。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の適切な機器を設置し、適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	指示通りの通常の取扱いでは、特別な処置は必要ない。 爆発の危険性はない。
接触回避	「10 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 実験室内では飲食又は喫煙をしないこと。 製品に汚染された衣類は着替えること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

技術的対策	容器をきつく密封し、乾燥した通気のよい場所に置く。開封後は再密封し、液漏れを防ぐため容器を傾けない。
混触禁止物質	水反応可燃性物質(アルカリ金属など)
保管条件	推奨保管温度:2～8℃ 保存期間:2 年間安定
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

ACGIH TLV-TWA (2019)	設定されていない
ACGIH TLV-STEL (2019)	設定されていない
日本産業衛生学会 (2025)	設定されていない

設備対策

取り扱いの場所に、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
高温下やミストが発生する場合は換気を行う。

保護具

呼吸用保護具	保護マスク
手の保護具	保護手袋(不浸透性の化学防護手袋)
眼及び/又は顔面の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	化学薬品保護服(長袖作業衣)

特別な注意事項

工場の作業者は、実験室の規則に従って保護具を着用すること。
作業服は他の衣服と区別して保管すること。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
------	----

色	無色～淡黄色、透明
臭い	情報なし
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	本製品は爆発を引き起こす可能性はない。
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水に可溶
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数(log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	該当しない
その他のデータ	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性	通常の実験条件下では安定である。
化学的安定性	通常の実験条件下では安定である。 大気中に放置すると pH が上昇する。稀に白濁する。
危険有害反応可能性 避けるべき条件	通常の実験条件下では危険有害反応を起こさない。 日光、熱、裸火、高温、火花、静電気、その他の発火源または湿気
混触危険物質	水反応可燃性物質(アルカリ金属など)
危険有害な分解生成物	火災の場合、刺激性または有毒なフューム(ガス)が発生する。

11 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性(経口)	情報なし
急性毒性(経皮)	情報なし
急性毒性(吸入:ガス)	情報なし
急性毒性(吸入:蒸気)	情報なし
急性毒性(吸入:粉じん／ミスト)	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期(急性): 情報なし 水生環境有害性 長期(慢性): 情報なし
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13 廃棄上の注意

化学品汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 残余廃棄物

廃棄においては、多量の水で希釈し関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(ADR/RID の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送(IMO の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

航空輸送(ICAO/IATA の規定に従う)

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない

国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
取扱い及び保管上の注意の項に留意する。

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

なし

16 その他の情報

参考文献

日本産業衛生学会(2025)許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2019) TLVs and BEIs.

【注意】 本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。